

1 事業の概要

都内における「持続的な都市農地の保全・活用に向けて、東京農業の多様な担い手を確保・育成する」ことを基本方針とし、東京農業に関する新たなつながりを生み出す”プラットフォーム”を構築することを目的とした事業(右図参照)。

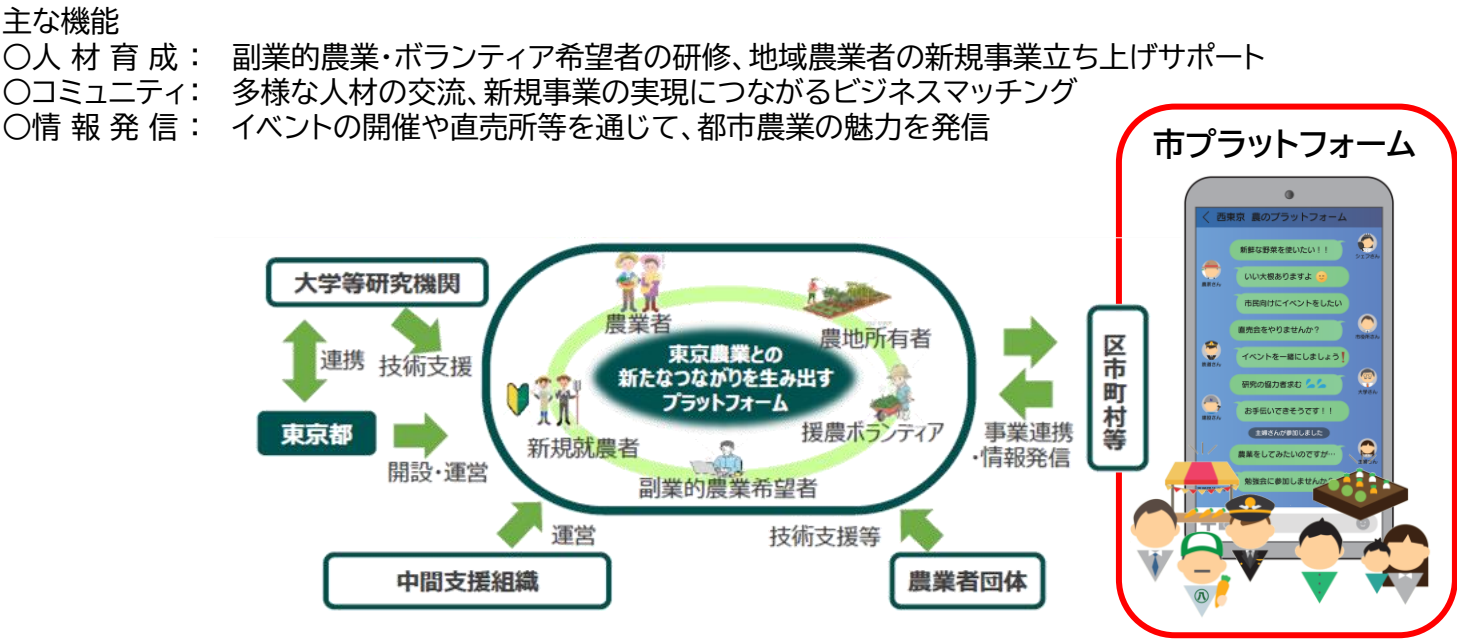
プラットフォームは、物理的な施設設置を想定したものであり、市内に農地が多く残ることや農地保全に関する検討に取り組んでいるなどの理由から市の東大農場の跡地が施設の用地として選定されている。

事業実施(プラットフォーム構築)にあたり、事業の推進支援を行うための「事業パートナー」を公募し、東京大学※が選定された。

また、東京都は事業パートナーも含む関係者で構成する「運営検討委員会」を設置し、西東京市からは、都市計画課長・農業委員会事務局長が委員として参加することとなった。

※ 大学院工学系研究室都市工学専攻(村山准教授所属)
大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構

の連名



〈図 多様な担い手育成支援事業の概要 ※一部加工〉

2 拠点施設の所在

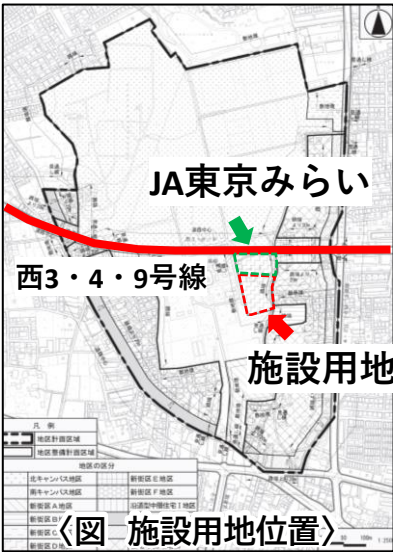
施設の所在地： 西東京市緑町一丁目2591番5
面 積： 約4,300㎡

拠点施設用地の隣接地の状況

○東側
幅約3.5メートルの市道に接している。市道の東側は住宅地となっている。今後、整備工事を行い、幅7.5メートルまで拡幅する予定である。

○南側と西側
東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構の南キャンパスに接している。

○北側
東京みらい農業協同組合西東京支店に接している。



3 事業スケジュール（予定）

- 〈令和5年度〉（済）
- ・ 事業用地の選定及び購入
 - ・ 事業パートナーの公募及び選定
- 〈令和6年度〉
- ・ 事業用地の造成、ほ場の整備
 - ・ 研修ほ場の一部を供用開始
- 〈令和7年度〉
- ・ 拠点施設の建築・整備
 - ・ 拠点施設の開設

4 拠点施設の整備（予定）

- 本 館：セミナールーム、コミュニティスペース、直売所等を備えた建物
- 倉 庫：農業機械、道具等を格納する倉庫
- 研修ほ場：農業を実践的に学ぶことができる農場
- 付帯設備：駐車場、駐輪場、エントランス広場等

※整備する施設の詳細については今後の検討事項であり、変更されることがあると伺っている

5 活動拠点のイメージ



6 本市との連携について

- ① 都市計画課長・農業委員会事務局長が「運営検討委員会」の委員に任命
 - ② 都市計画審議会、東大農場社会連携協議会で市と関わりのある東京大学が「事業パートナー」に選定
 - ③ 北側の土地にJA東京みらい西東京支店が整備(JAも運営検討委員会の委員)
- これらを踏まえ・・・
- 市農業振興の拠点となるよう、積極的な連携を図っていく。